

**第24回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会ミニバスケットボール競技
茨城県大会結果速報(初日男子第二試合)**

平成17年7月30日

[Aコート12時開始]

男子Aブロック第二試合

吉川	46	10	VS	10	31	佐野
		14		8		
埼玉		10		5		栃木
		12		8		

1Q お互いマンツーマンにてスタート。吉川は にボールが入らず苦しむが の果敢なドライブなどで得点を重ねる。佐野も積極的な攻撃を仕掛け、一進一退の攻防となり同点で2Qへ。

2Q 佐野は のドライブを中心にゴール下を攻め立てる。一方、吉川は を中心とした攻撃を組み立て、ポスト・リバウンドで加点し6点リードで後半へ。

3Q 吉川ボールでスタートするも、追い掛ける佐野の気迫溢れるディフェンスからの シュートが決まる。吉川のリバウンド力の前に徐々に点差が広がっていく。

4Q 反撃に行きたい佐野は、厳しいディフェンスで吉川を苦しめる。佐野 のシュートで加点するも、吉川は のリバウンドからのシュートなどで差を広げ試合終了。

総評 佐野は を中心にリングに向かって積極的なプレーを展開するも、吉川の のインサイドと の落着きのあるミドルが上回った。両チームとも攻撃力のある好チームであった。

(戦評) 牧山 健一

[Bコート12時開始]

男子Bブロック第二試合

池の川	52	12	VS	22	58	高崎北部
		15		10		
茨城A		13		16		群馬
		12		10		

1Q 立ち上がり池の川ゾーン、高崎北部マンツーマンでスタート。お互いの堅い守りに攻めきれず、高崎北部 のアシストとアウトサイドからのシュートで12-22で終了。

2Q 高崎北部が序盤からアウトサイドシュートが決まり、突き放しにかかる。池の川 のスティールから追い上げにかかり、高崎北部の5点リードで折り返す。

3Q 序盤、高崎北部 のアウトサイドシュートとアシストで追加点。池の川はプレスに切り替え、反撃に転じ、4点差に詰め寄る。

4Q 高崎北部のアウトサイドシュートが決まらず、池の川 の連続ゴールで一進一退の攻防となる。残り20秒で1ゴール差。フリースローが決まらず高崎北部が逃げ切り結戦をものにする。

総評 高崎北部 のアウトサイドシュートのうまさ的印象的。池の川 の頑張りもあり、両チームとも見応えのある好ゲームだった。

(戦評) 阿部 幸江

[Cコート12時開始]

男子Cブロック第二試合

海老名中央	23	8	VS	15	62	八代
		0		19		
神奈川		9		14		山梨
		15		14		

1Q 八代はオールコートでプレッシャーをかけ、海老名中央はゾーンディフェンスで試合がスタートする。八代はディフェンスからラン&ガンの展開で、確実に得点を取る。海老名中央はインサイドから得点をとり7点差で1Q終了。

2Q 八代は1Qと同じで、オールコートでプレッシャーをかけて、速攻やインサイドを上手く使いながら一気に試合の主導権を握る。海老名中央もインサイドで勝負するが点差をつめられずに前半終了。

3Q 後半に入っても八代はインサイドを上手く使いながらラン&ガンの展開で得点を重ねる。海老名中央も3Qに入り、ようやくリズムを取り戻し頑張るも八代の速い展開に苦戦する。

4Q 海老名中央はプレッシャーをかけて勝負に出るが、八代は点差が開いたためか、落ち着いてゲームをコントロールする。海老名中央は点差を縮めたいが、八代 のブザービーターで試合終了。

総評 八代のスピード感あふれる試合展開が目立った試合だった。両チーム共に高さがあり、スピード感も十分に感じられ、2日目にも期待できる。

(戦評) 木村 晃